

(案)

第3次江南市子ども読書活動推進計画

こうなん “わくわく” 読書プラン

令和2年度～6年度



令和2年 月

江南市教育委員会

目 次

第1章 計画の策定にあたって	1
1. 計画策定の背景	1
第2章 計画の基本的な考え方	2
1. 計画の目的	2
2. 計画の基本方針	2
3. 計画の構成	2
4. 計画の対象	3
5. 計画の期間	3
第3章 子どもの読書活動の現状と課題、及び施策の方向性	4
基本目標1 家庭・地域における子どもの読書活動の推進	4
1. 家庭における読書活動の推進	4
2. 地域における読書活動の推進	7
基本目標2 学校などにおける子どもの読書活動の推進	10
1. 保育園・幼稚園などにおける読書活動の推進	10
2. 学校における読書活動の推進	12
基本目標3 市図書館における子どもの読書活動の推進	16
1. 市図書館における読書活動の推進	16
基本目標4 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発	21
1. 子どもの読書活動の意義や大切さの普及・啓発	21
基本目標5 子どもの読書活動推進体制の整備	23
1. 計画の施策とその達成年度	23
2. 「子どもの読書活動推進ネットワーク」の形成	23
計画の施策とその達成目標年度	25
(参考資料)	
江南市子どもの読書に関するアンケート調査	28
子どもの読書活動の推進に関する法律	47
江南市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱	50
江南市子ども読書活動推進計画策定ワーキンググループ設置要綱	52

第1章 計画の策定にあたって

1. 計画策定の背景

子どもにとって読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けるうえで、欠かすことのできない重要な活動です。そのために、子どもたちが幼い時より自然に読書に慣れ親しむことができるよう、社会全体でその推進を図っていくことが求められています。

国は、読書のもつ計り知れない価値を認識するとともに、子どもの読書活動を支援するため、平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を定め、平成14年8月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を策定し、平成20年3月に第二次計画、平成25年5月に第三次計画、平成30年4月には第四次計画を策定しました。

また、愛知県においても平成16年3月「愛知県子ども読書活動推進計画」を策定し、平成21年9月に第二次計画、平成26年3月に第三次計画、平成31年2月に第四次計画を策定しました。

市では平成22年4月に「江南市子ども読書活動推進計画」、平成27年4月には第2次計画を策定し、子どもの自主的・積極的で充実した読書活動を支援してきました。また、平成31年3月には、将来の江南市全体の図書館サービスの果たすべき役割や、布袋駅東複合公共施設に移転をする新たな図書館（以下、「新市立図書館」とします。）の将来像やサービスなどについて定めた「江南市図書館基本計画」を策定しました。

近年、情報通信手段の普及や多様化など、子どもの読書活動を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした状況の中、子どもの読書習慣の形成には、幼児期からの発達段階に応じた読書活動への働きかけが引き続き大切となります。子どもたちが自然に読書に慣れ親しむことができる環境づくりのため、国及び県の計画内容や「江南市図書館基本計画」との整合性を図りながら、現行計画の課題に対応し、第3次計画を策定するものです。

第2章 計画の基本的な考え方

1. 計画の目的

次世代を担う心豊かな子どもの育成を目指し、家庭、地域、学校、その他関係機関が一体となり、子どもの充実した読書環境と読書機会を得ることを目的に、国及び愛知県の計画や江南市図書館基本計画を踏まえ、現行計画における成果と課題を把握し、これからの子ども読書活動の基本的な方向と、施策を推進するための指針として「第3次江南市子ども読書活動推進計画」を策定するものです。

2. 計画の基本方針

この計画の目的を達成するため、次の3つを基本方針とします。

(1) 家庭・地域・学校など、社会全体での読書活動の推進

子どもが自主的・積極的に読書を楽しむことができるよう、家庭・地域・学校などと連携し社会全体で読書活動を推進します。

(2) 読書に親しむ環境の整備・充実

子どもが読書に親しむことができるよう、読書環境の整備やサービスの充実などを図ります。

(3) 読書活動に関する理解と関心の普及・啓発

子どもの読書活動の推進を図るため、社会全体がその取り組みに理解と関心を示すよう普及・啓発に努めます。

3. 計画の構成

計画の基本方針に従い、本市の実情を踏まえた読書活動の推進を図るため以下の5つの基本目標を掲げ、その目標を達成するための取り組みを示します。

基本目標1 家庭・地域における子どもの読書活動の推進

基本目標2 学校などにおける子どもの読書活動の推進

基本目標3 市図書館における子どもの読書活動の推進

基本目標4 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発

基本目標5 子どもの読書活動推進体制の整備

4. 計画の対象

この計画の子どもとは、乳幼児、小学生、中学生を中心とした、0歳から18歳までの者とします。この計画の対象者は、保護者、地域住民、教員、図書館職員をはじめ、子どもを取り巻くすべての子どもの読書活動の推進に関わる者とします。

5. 計画の期間

この計画の期間は、令和2年度から6年度までの5年間とします。
なお、必要に応じて、計画の見直しを行います。



第3章 子どもの読書活動の現状と課題、及び施策の方向性

この章では、計画の方針に従い、本市の実情を踏まえた読書活動の推進を図るために掲げられた5つの基本目標ごとに、「子どもの読書に関するアンケート」結果を基に、現状と課題を挙げ、これからの施策の方向性と取り組みを示します。

基本目標1 家庭・地域における子どもの読書活動の推進

1. 家庭における読書活動の推進

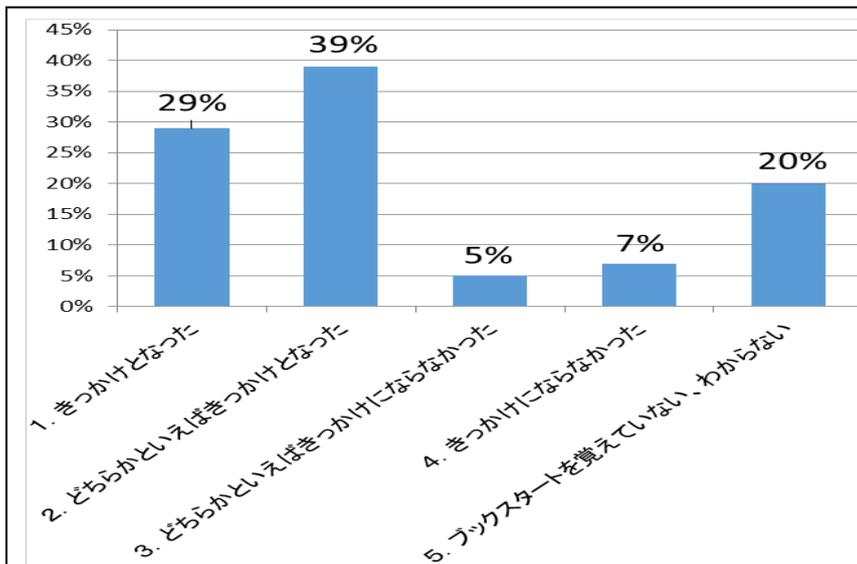
(1) 現状

子どもの読書習慣は、家庭での親子による読み聞かせの体験、ことばかけ、家庭での読書環境を整えることなど、日常生活を通して形成されます。

ブックスタート事業^{注1}については、健康づくり課と江南市立図書館（以下、「市図書館」とします。）がタイアップし、保健センターで行う4か月児健診時に合わせ、市図書館が実施しています。ブックスタートが読み聞かせを行うきっかけとなった保護者は68%を占めており、効果的な事業となっています。

年長児保護者の60%以上が週に1日以上子どもに読み聞かせを行っているほか、ほぼ全ての保護者が子どもの成長のためには読書が必要だと考えています。

ブックスタートが読み聞かせを行うきっかけになりましたか？（年長児保護者）



注1 ブックスタート事業とは、乳児と保護者が絵本を通して触れ合うことにより、温かいひとときが得られることを目的とし、絵本を開く楽しい体験とともに絵本を手渡す活動。市では平成15年8月から始まり、保健センターの4か月児健診で実施している。

(2) 課題

子どもが本を読まない理由では、テレビやゲームのほうが面白い、本を読みたいと思わないといった回答が多くなっています。子どもが好きな本や興味が湧く本と出会う機会を早く作ることや、発達段階に応じた読書機会の創出が課題となっています。

家庭においては、読み聞かせの重要性の認識、また読み聞かせの方法についての保護者に対しての周知が必要とされています。

また、ブックスタート事業などをはじめとした読み聞かせ事業のその後の支援や、家庭における日常的な読書を実現するための取り組みが必要となっています。

(3) 施策の方向性と取り組み

ア 親子の読み聞かせの促進

① ブックスタート事業

乳児と保護者が絵本を通して触れ合うブックスタート事業をきっかけとして、乳幼児期からの読み聞かせの大切さ、読書の楽しさや大切さを保護者に伝えます。

② 発達段階に応じた親子で本に触れ合う機会の創出

ブックスタート事業や乳児対象の「だっこのおはなし会」のその後の支援として、未就園児向けのおはなし会の機会の拡充を図ります。

③ 公共施設における絵本コーナーの整備

児童館などの公共施設に、自由に読み聞かせができる絵本コーナーを設置し、本を通じての親子の触れ合いの機会を設けます。

④ 保護者向け講座の開催

読み聞かせは親子の触れ合いから始まることを周知し、さらに読み聞かせの仕方や工夫、本の選書に関する講座を開催して保護者を支援します。



交通児童遊園絵本コーナー

イ 家庭読書活動の促進

① ブックリストの作成

家庭での読み聞かせや読書活動の参考になるように、子どもの年齢に合わせたブックリスト（幼児用、小学校低学年用、中学年用、高学年用、中学生用）を公共施設に置いています。また、幼児用のブックリストは、新たに年齢別に細分化したリストを作成します。

② 「家読（うちどく）^{注1}」の啓発

読書を通して家族のコミュニケーションを図る「家読（うちどく）」の啓発について、広報などを通じて家庭での読書の機会を増やすよう呼びかけます。

③ 家庭読書活動への支援

各家庭で行われている読み聞かせの方法や、子どもが本に興味や関心をもつような取り組み、工夫についてまとめた事例集を作成し、家庭での読み聞かせの方法が分からない保護者を支援し、家庭読書活動の促進に努めます。



ブックリスト

注1 家読（うちどく）とは、子どもを中心に家族で同じ本を読み、読んだ本の感想などを話し合っ、コミュニケーションを深めることを目的にした読書運動。

2. 地域における読書活動の推進

(1) 現状

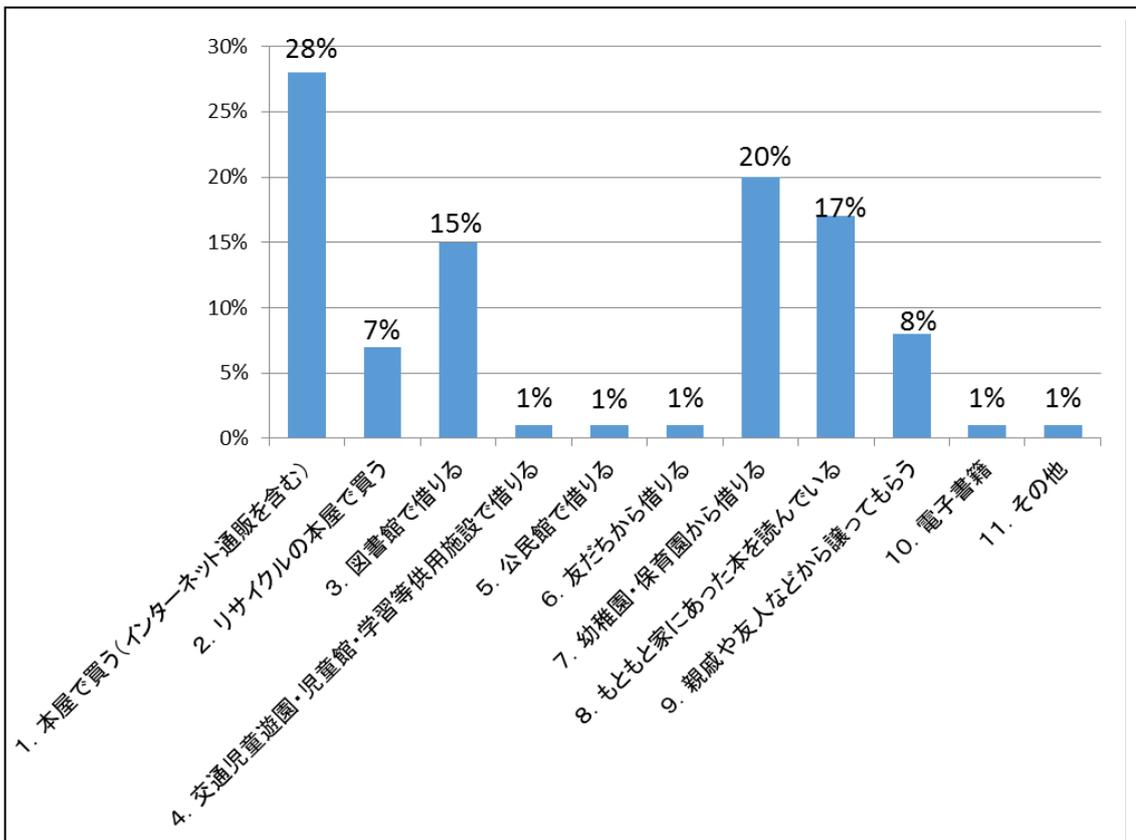
子どもが本と自由に触れ合うことができる場所として、市図書館、学校図書館のほかに市立公民館、交通児童遊園、児童館、子育て支援センター、学習等供用施設があります。

子どもの読書に関するアンケートの結果から、小中学生がどこの本をよく読むのかについては、自宅にある本に続いて、学校の図書館を利用する割合が高くなっています。

また、市内保育園では定期的に園児に対し本を貸し出していることから、保育園の本を利用している割合も高くなっています。

地域の子育て支援の拠点である児童館や子育て支援センターなどでは、市図書館職員、保育士、地域ボランティアによる読み聞かせを開催し、多くの方が参加しています。さらに、図書室には新刊コーナーや夏季の課題図書コーナー、幼児室（遊戯室）に絵本コーナーを配置するなど、子どもが利用しやすい環境を整えています。

お子さんの本をどのように手にしていますか？（年長児保護者）



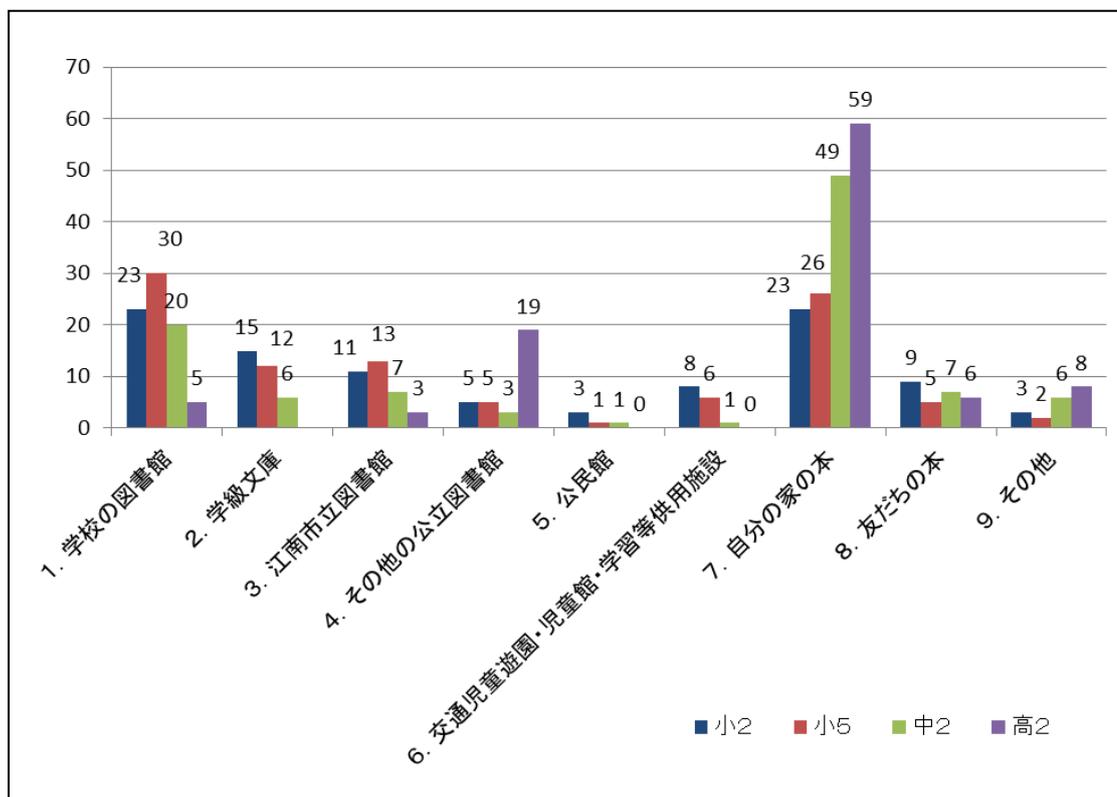
(2) 課題

子どもの読書に関するアンケートでは、交通児童遊園、児童館、学習等供用施設や市立公民館での図書の利用や貸出は依然として低調となっています。子どもの利用が多い交通児童遊園や児童館では、自由に読み聞かせができる絵本コーナーがあり、子どもが本に親しむ時間を安心して見守ることができる施設として利用促進を図る必要があります。

子どもの読書活動をより一層推進するためには、いかに子どもの目にとまるような環境を整えていくかが課題となっています。

どこの本をよく読みますか？

(単位：%)



(3) 施策の方向性と取り組み

ア 読書環境の充実

- ① 保育園、児童館、子育て支援センターの絵本や児童書の整備
子どもが気軽に本に触れることのできる環境づくりのため、保育園や児童館、子育て支援センターの絵本や児童書などの整備に努めます。
- ② 公共施設の利用促進
交通児童遊園、児童館、子育て支援センター、学習等供用施設や市立公民館など市内各施設で行っている図書の貸出サービスや図書室の利用の周知を図ります。
- ③ 幼児室の読書環境づくり
児童館の幼児室に絵本コーナーを設置するなど、親子が楽しく本に触れ合える環境づくりに心がけます。

イ 本に親しむ機会の充実

- ① 保育園、児童館、子育て支援センターなどでの読み聞かせ
保育園や児童館、子育て支援センターなどの施設で読み聞かせを開催し、子どもや保護者に読書の楽しさを伝える機会の充実に努めます。
- ② ボランティアによる読み聞かせの機会の提供
図書館ボランティアの実践の機会を提供するため、スキルアップ研修や新たなボランティア育成を目指した養成講座を開催します。
- ③ 児童館による事業の開催
児童館が実施している「親と子の遊びの広場」で、児童厚生員^{注1}が絵本の読み聞かせを行います。また、ボランティアを活用し、いつもと違う雰囲気の中での読み聞かせを味わってもらい、楽しく本に触れる機会の充実に努めます。

注1 児童厚生員とは、児童館の職員で、母子指導員の資格を有する者などを指す。

基本目標2 学校などにおける子どもの読書活動の推進

1. 保育園・幼稚園などにおける読書活動の推進

(1) 現状

市内の保育園や幼稚園などでは、子どもの豊かな感性を育むために、日常の保育及び教育の中で読み聞かせを積極的に取り入れています。また、各園では、図書コーナーに本をそろえ、子どもたちにお話の世界を楽しんでもらう働きかけを行っています。

保育園では、園児の保護者に対し、家庭での読み聞かせ用の本を定期的に貸し出しており、家庭での読み聞かせに大いに活用されています。

また、市図書館においても平成29年度より絵本の配本サービスを開始し、多くの園児に本に親しむ機会を提供しています。

子どもの読書に関するアンケートでは、ほぼ全ての保護者が、子どもの成長のために本を読むことが大切と考え、読み聞かせへの意識が高くなっています。

(2) 課題

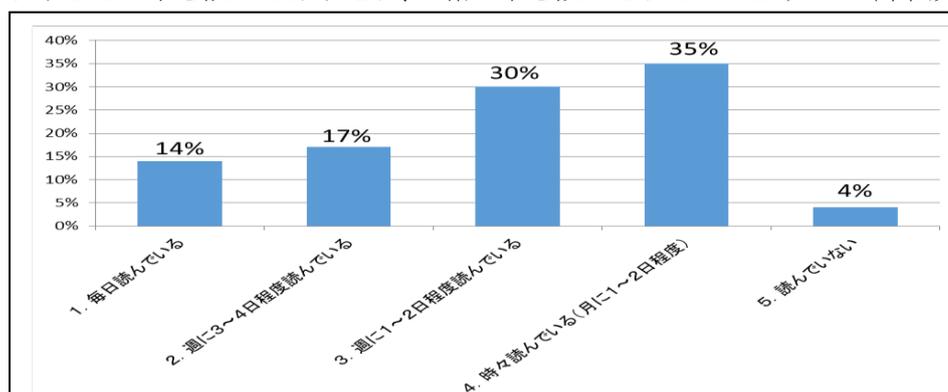
本を読むことに対する親の意識が高まりつつある中、子どもが興味のある本や、話題の本、人気の本などの情報提供に一層努めていく必要があります。

保育園で行っている取り組みについて、本の貸出は多くの保護者が利用していることから、各保育園での本の貸出方法の工夫が必要です。また、子どもが本に親しむを持つために、ゆったりと絵本に触れられる環境を整備することも必要です。

市図書館との連携では、現在行っている、団体貸出の利用促進が課題となっています。

子どもの読書に関するアンケートでは、保護者が子どもの本を入手する先として市図書館や保育園・幼稚園の割合が高いことから、市図書館と保育園・幼稚園などとの情報の共有が必要となります。

お子さんに本を読んであげたり、一緒に本を読んだりしていますか？(年長児保護者)



(3) 施策の方向性と取り組み

ア 読書環境の充実

① 保育園・幼稚園などにおける図書の充実

各園で実施する読み聞かせや図書の貸出などの取り組みが一層促進するために、各園が所有する図書を充実します。

また、発達段階に応じた絵本や紙芝居などの充実を図ります。

② 絵本タイムの確保

子どもが本に親しみ、本を読むことが楽しくなるには、子ども自身が本を読み、本の楽しさを周囲の友達などに伝えることが大切となります。落ち着いた環境の中で子どもがじっくり本と向き合える時間を確保します。

イ 読み聞かせの推進

① 読み聞かせの実施

毎日の保育及び教育活動の中での読み聞かせを通し、絵本に親しみ、お話の世界の楽しさに触れる体験の充実を図ります。

ウ 保護者への広報・啓発

① 読み聞かせや読書に対する理解と啓発

子どもの発達段階に応じた絵本や、子どもの興味のある本、話題の本、人気の本の情報を提供し、親子が一緒に読み聞かせを楽しむ機会の充実を図ることで、読み聞かせや読書に対する啓発を推進します。

エ 市図書館との連携

① 団体貸出の利用促進

子どもたちが本に触れ合う機会を増やすために、団体貸出に関して市図書館との連携を進めます。

② 情報の共有

読み聞かせ用の本や児童書に関する情報について、保護者からのニーズに対応できるよう、市図書館が作成するブックリストを活用します。

2. 学校における読書活動の推進

(1) 現状

市内小中学校の学校図書館は、コンピュータを導入し、図書の管理や検索などを行う学校図書館システム^{注1}を活用した図書館運営が行われています。

現在は、全小中学校に司書教諭^{注2}と共に学校図書館司書が配置され、学校図書館の利用率向上に向けて、人気本や季節の本、推薦図書の紹介、ブックトーク^{注3}、調べ学習資料の選出、見やすい図書の配架などの取り組みがなされ、学校の図書館の利用率は向上しています。また、読書指導に関しては、全小中学校で読書時間が設けられ、子どもの読書に関するアンケートでは、本を読む良い機会（時間）との回答が多くを占めています。その他、読書週間や、ペア学年による読み聞かせを実施するなど、子どもに対する読書への働きかけが継続的に行われていることから、小学生では70%以上、中学生では30%以上の児童生徒が週に3日以上、読書活動を行っています。

また、市図書館との連携も推進し、定期的に高校や短期大学を含めたメンバーで、連携会議を開催しています。

放課後子ども教室では、安全管理員や地域のボランティアによる読み聞かせを実施しており、読み聞かせを通しての地域住民との交流も図られています。



学校図書館だより



学校図書館

注1 学校図書館システムとは、図書の貸出・返却管理、蔵書検索、児童生徒の人気ランキングなどの各種統計ができるシステム。

注2 司書教諭とは、学校図書館の専門的な業務を行う教員のこと。平成15年度以降、12学級以上の学校には司書教諭の配置が義務づけられている。

注3 ブックトークとは、子どもたちに対し、あるテーマを決めて何冊かの本を紹介し、その本を読みたいという気持ちを起こさせる手法のこと。

(2) 課題

学校図書館の利用率が向上することに伴い、新しい本や、人気の本を所蔵するニーズが高まっています。現在、小中学校で所蔵する図書の中には古い図書もあり、それらを整理し、調べ学習に適した本や人気のある本など、計画的な図書の整備を図ることが必要です。

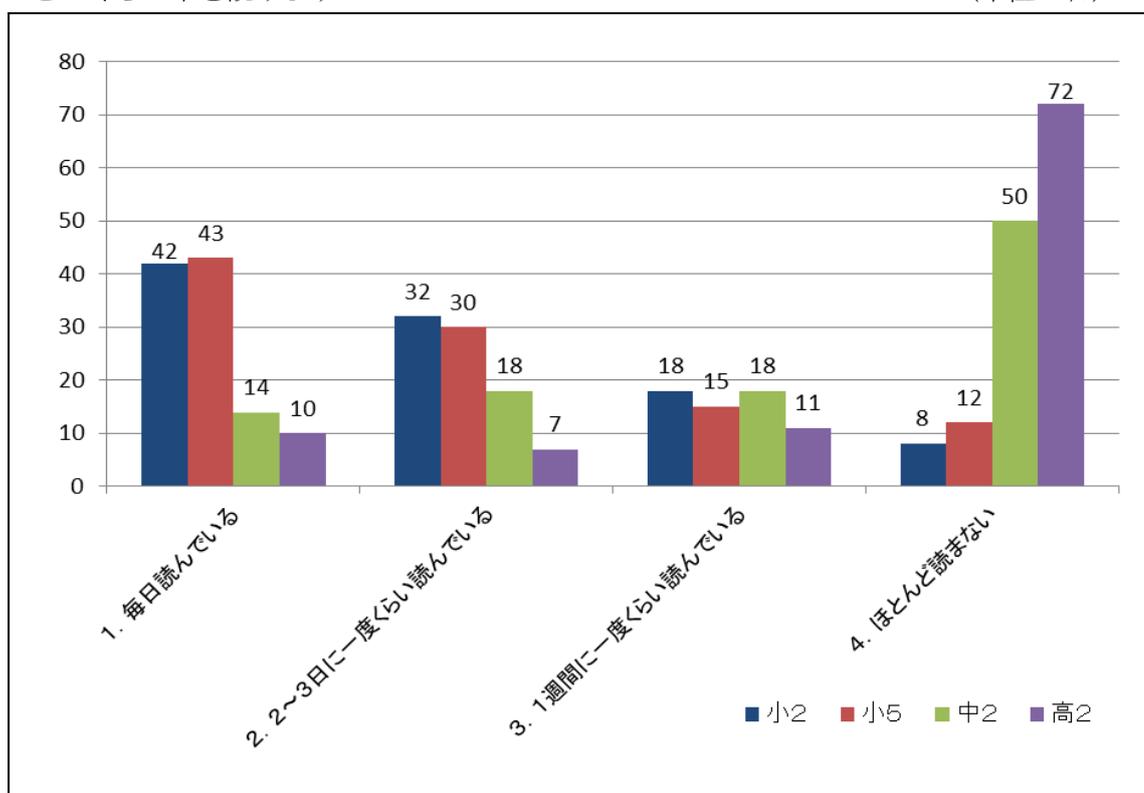
子ども全体の読書する頻度は高くなっていますが、高学年になるほど低くなっています。学習指導要領^{注1}の改訂に伴い教育課程の見直しが図られたことから、学校の授業などで子どもの読書に費やす時間の確保が以前より難しい状況にあります。引き続き本を読む面白さや、楽しさを早い段階で感じることができるよう、本と触れ合う機会を確保していくことが必要です。

また、本を読むことで、様々な知識が身に付くことを伝えることも、読書活動の啓発のひとつとなります。

市図書館との連携では、団体貸出の利用促進に向け、利用しやすい方法を検討する必要があります。

どのくらい本を読みますか？

(単位：%)



注1 学習指導要領とは、全国のどの地域で教育を受けても、一定の水準の教育を受けられるようにするため、文部科学省で定められた、学校教育法などに基づいた、各学校で教育課程（カリキュラム）を編成する際の基準のこと。

(3) 施策の方向性と取り組み

ア 読書指導の充実

- ① 全校一斉読書活動の実施
読書習慣の確立のため、全校一斉読書活動の継続と充実を図ります。
- ② 啓発行事の充実
読書週間などの啓発行事の充実を図ります。
- ③ 推薦図書を紹介とブックトーク
推薦図書の紹介などを行い、啓発活動を実施します。また、学校図書館司書によるブックトークを行います。

イ 学校図書館資料の充実

- ① 学校図書館資料^{注1}の充実
児童生徒の多様な興味・関心に応え、また、各教科における調べ学習に役立つ学校図書館資料の計画的な充実を図ります。

ウ 学校図書館の活用

- ① 学校図書館利用率の向上
司書教諭がコーディネーターとしての役割を再認識し、児童生徒の学校図書館利用率の向上に引き続き努めます。
- ② 学校図書館の環境整備
学校図書館司書やボランティアの方の協力を得て、POP^{注2}を利用した見やすく、分かりやすい配架を行い、児童生徒が利用しやすい学校図書館の環境整備に努めます。

エ 読書活動推進体制の充実

- ① 経験豊富な学校図書館司書による各校への巡回指導
学校図書館司書の人員を維持し、各学校図書館の機能の充実に努めます。
- ② 学校図書館司書と司書教諭の情報の共有
学校図書館の円滑な運営や読書環境の整備を進めていくため、学校図書館司書と司書教諭が情報の共有に努め、推進体制の充実を図ります。
- ③ 放課後子ども教室における読書活動
放課後の子どもの居場所づくりの一環として実施されている放課後子ども教室において、読書環境の充実に努めます。

注1 資料とは、図書館が集めているすべての資料をいう。図書、雑誌、新聞、地図のほか、視聴覚資料(CD、ビデオテープ、DVD)、電子資料(CD-ROM)などがある。

注2 POPとは、購買時点広告(Point of Purchase Advertising)のこと。ここでは、本を読みたい気持ちにさせる文章やイラスト、ポスターなどを指す。

オ 市図書館との連携

① 団体貸出の利用促進

調べ学習などの場において、市図書館の団体貸出の積極的な利用に努めます。

② 連携会議の開催

学校図書館担当者と市図書館職員がともに参加する場を設け、市図書館の団体貸出活用や図書の効果的な活用などについて情報交換を行います。

③ 各小中学校における市図書館の蔵書の貸出と返却

市図書館が行っている配本サービスについて、各小中学校での利用促進を図ります。

カ 保護者への広報・啓発

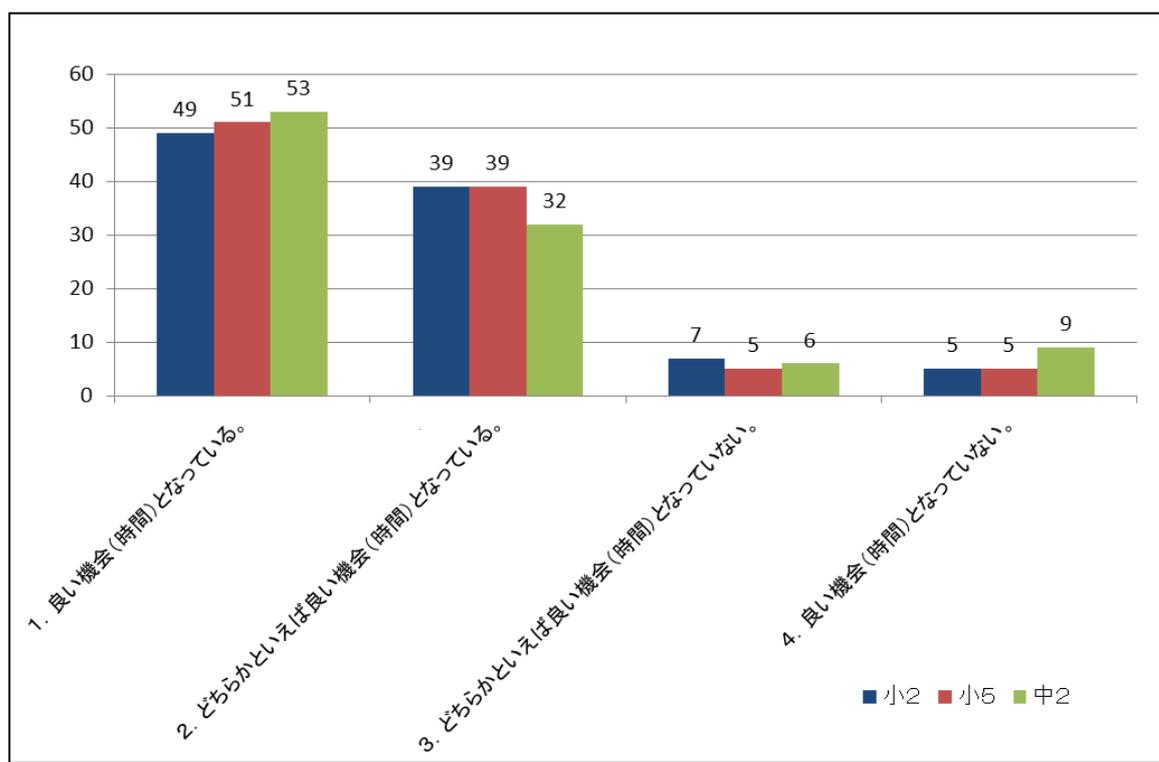
① 子どもの読書活動に関する情報の提供と啓発

学校からの配布物や保護者会などの機会をとらえ、子どもの読書活動に関する情報の提供や啓発に努めます。

② 小中学校による「家読(うちどく)」の啓発

家で家族みんなが本を読む新しい読書スタイル「家読(うちどく)」の啓発に努めます。

学校の読書の時間は、本を読むための良い機会(時間)になっていますか？ (単位：%)



基本目標3 市図書館における子どもの読書活動の推進

1. 市図書館における読書活動の推進

(1) 現状

市図書館の資料数は平成31年3月末現在124,045点で、そのうち児童書は29,460冊、紙芝居1,012冊となっています。

市図書館では、子どもに本の楽しさを知ってもらうきっかけづくりとして、市図書館職員やボランティアの協力のもとに、毎月おはなし会などの様々な行事を開催しています。おはなし会は、市図書館だけでなく児童館や学童保育でも行われています。

読書支援では、季節やテーマごとに絵本を集め、児童コーナーや YA（ヤングアダルト^{注1}）コーナーなど、POPを取り入れて分かりやすい配架に努めています。

また、図書館まつり、図書館ボランティアフェスタ、スタンプラリー、子ども司書一日体験講座などの事業には、多くの子どもが図書館に来館しています。

小中学校や保育園との連携では、お互いの情報交換に努め、図書館だよりの配布や連携会議を定期的に設けるなど、外に出た図書館サービスを提供しています。

健康づくり課とタイアップしたブックスタート事業では、多くの保護者から、読み聞かせを行うきっかけとなったとの回答があり、ブックスタート事業の効果が伺えます。

また、平成31年3月に「江南市図書館基本計画」を策定し、将来の江南市全体の図書館サービスの果たすべき役割や、布袋駅東複合公共施設内に移転し、令和5年度に供用開始予定の新市立図書館の将来像やサービスなどについて方向性を決めました。



わかりやすい案内表示POP



図書館だより

注1 ヤングアダルトとは、市図書館では、小学生高学年から中・高校生年代を指す言葉として使用している。

(2) 課題

現在作成されている幼児用、小学校低学年用、中学年用、高学年用、中学生用のブックリストについて、幼児用は年齢別に細分化したリストを作成するなど、発達段階に応じた保護者の家庭での読み聞かせや子どもの読書活動の参考となるような取り組みが必要となっています。

また、子どもが市図書館に慣れ親しんでもらえるように、各自主事業の開催を引き続き行うこととともに、小学生や中学生の調べ学習に対応した本の情報提供に努めることも必要となっています。

団体貸出については、登録した各団体がより利用しやすい制度となるよう引き続き検討を行っていくことも大切となります。

新市立図書館においても本計画との整合性を図りながら、子どもの読書活動の推進に向けた取り組みが必要となります。

(3) 施策の方向性と取り組み

ア 蔵書の充実

① 購入図書を選定

市図書館資料費の確保に努め、基本図書^{注1}の整備はもちろん、子どもが読んで「たのしい」と思える本、子どもの成長の力となる本を幅広い分野から選定し収集します。

イ 読書支援の充実

① 子どもの調べ学習に向けた支援

子どもの自主的な学習を支援するために、既存の子ども向けパスファインダー^{注2}を見直し、自らが調べられるような環境を整備します。

② ブックリストの拡充

幼児用のブックリストを、ストーリー性のある絵本を中心に年齢別に細分化して作成し設置します。

③ わかりやすい案内表示の作成

本の紹介カードやPOPの充実など、展示の工夫に努めます。



パスファインダーコーナー

注1 基本図書とは、学術研究、教育、学習を目的とするための基幹となる図書資料を示す。

注2 パスファインダーとは、あるトピックについて調べるときに役立つ資料やツールを紹介した「情報探索の道しるべ」のこと。

ウ 行事の充実

① 子どもを対象にした事業の開催

図書館まつりや図書館ボランティアフェスタ、子ども司書一日体験など、バラエティに富んだ事業を企画し、実施します。

② スタンプラリーの実施

子どもの読書活動の推進と、図書館に慣れ親しんでもらうことを目的に、子ども読書週間などの時期に合わせてスタンプカードを用意し、子どもが意欲的に本を読むことができるように努めます。

エ 障害者を対象としたサービスの充実

① だれもが利用できる市図書館としてのサービスの充実

音訳図書や点字図書、LLブック^{注1}、デイジー図書^{注2}などの整備に努め、障害者の読書活動の支援の充実に努めます。

オ ボランティアの育成と連携

① ボランティア団体との連携

読み聞かせや、ブックスタートを行うボランティアを育成し、各事業の実施に向けた連携を図ります。

カ 保育園・児童館・小中学校などとの連携

① 保育園・児童館などとの連携

- ・絵本の配本事業（保育園、子育て支援センター、わかくさ園）

子どもたちが本に触れ合う機会を増やすために、引き続き絵本の配本事業を行います。

- ・情報の共有

保育園児保護者の読み聞かせ用の本や児童書の情報に関するニーズに対応できるよう、新たに作成する幼児用ブックリストを提供します。

- ・自主企画事業の情報発信

読み聞かせ会など市図書館が実施する企画事業の情報を各施設において随時発信し、市図書館の利用促進を図ります。

- ・保育園への出張読み聞かせ

保育園へは、市図書館職員が出張して読み聞かせ会を行っています。保育士との交流などを図り、情報交換に努めます。

注1 LLブックとは、知的障害や発達障害のある人などが読みやすいよう、写真や絵、絵文字、短い言葉などで構成された本のこと。「LL」はスウェーデン語で「やさしく読みやすい」を意味する言葉の略。

注2 デイジー図書とは、視覚障害などで活字の読みが困難な人のために製作されるデジタル図書の国際標準規格を満たした図書を示す。「デイジー (DAISY)」は「Digital Accessible Information System」の略。

② 小中学校との連携

・団体貸出の利用促進

小中学校の調べ学習などの場において、市図書館の図書が活用されるよう、団体貸出の利用促進に努めます。

・本に関する情報提供の促進

おすすめ本のブックリストを各小中学校に配布し、本に関する情報提供を図ります。また、学校現場における教育活動に合わせた本をリストアップし提供します。

・新1年生スタートパックの実施

小学校新1年生に対し、市図書館の紹介や貸出カードの作成についての案内を、学校を通じて行い、市図書館の利用方法を説明して貸出カード作成に繋がります。また、行事のお知らせやカレンダーを学校に配布するとともに、子どもに読ませたい本のアンケートを保護者に対して行うなど、子どもが市図書館を身近に感じられるように働きかけます。

・連携会議の開催

学校図書館担当者との情報交換や、読書活動の推進に努めます。

また、高校、愛知江南短期大学を加えた、小中高大連携会議を開催します。

・配本サービスの利用促進

各小中学校で行っている配本サービスについて周知を行い、利用促進を図ります。



新1年生スタートパック



図書館まつり

キ 新市立図書館における読書活動の推進

① 江南市図書館基本計画に沿った子どもの読書活動の推進

- ・ 育児サポートによる来館者の支援

育児中の来館者に読み聞かせの大切さ、読書の楽しさや大切さを伝えるだけでなく、育児に関する支援を行うことで育児に不安や悩みを抱えた保護者が気軽に図書館に来館したくなるような環境づくりに努めます。

- ・ 子どもが本と触れ合う環境の整備

中学生や高校生を中心とするティーンズ世代向けの資料や居場所を提供するティーンズコーナー、グループや友人で利用可能なグループ学習室、個人で集中して利用可能な個人学習席など、子どもが自主的・積極的に充実した読書活動ができる環境や、授乳室やベビーベッドなどを備えた乳幼児連れの親子でも利用しやすい環境の整備を図るなど、各諸室や機能の充実化を図ります。

② 各関係機関との連携

保健機能や子育て支援機能、交流機能、民間施設を備えた複合施設となることから、各関係機関との連携により、より充実した読書活動を働きかけます。

③ すべての利用者に寄り添ったサービスの展開

新市立図書館の利用が困難な外国人や障害者などに配慮したサービスを展開し、すべての利用者の読書機会の確保に努めます。



江南市図書館の基本理念と新市立図書館の基本方針

基本目標 4 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発

1. 子どもの読書活動の意義や大切さの普及・啓発

(1) 現状

子どもの読書に関するアンケートでは、ほとんど本を読まないと回答した割合は、小学2年生で8%（11%）、小学5年生で12%（13%）となり減少傾向にあります。また、中学2年生では50%（39%）と増加し、高校生では72%（75%）と微減しているものの高い割合です。

「子ども読書の日^{注1}（4月23日）」の認知度は年長児保護者で5%（1%）、小学2年生で18%（15%）、小学5年生で18%（12%）、中学2年生で5%（4%）、高校2年生で3%（2%）となり、前回のアンケート結果より向上が見られます。

さらに、本を読むことが大切だと思う子どもは90%以上を占めており、幼児期の各家庭における読み聞かせ、小中学校や市図書館による読書活動への取り組みの結果、子どもの読書活動は向上しています。

また、年長児の保護者では、子どもの成長のためには本を読むことが大切であるとの回答が99%であり、保護者の意識も高いといえます。

※（ ）は前回のアンケート結果

(2) 課題

子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために定められた、「子ども読書の日」についての認知度は向上したものの、依然として低い結果となっており、また、国や愛知県の計画においても「子ども読書の日」の普及・啓発が必要とされていることから、一層周知に努めることが必要となります。

また、継続的な読書活動の促進、子どもの読書活動の意義や大切さについて社会全体の理解を得るため、積極的な情報提供を行っていくことが課題に挙げられます。



出張読み聞かせ会



子ども司書一日体験

注1 子ども読書の日とは、広く子どもの読書活動についての理解と関心を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため「子どもの読書活動の推進に関する法律」により定められた日。

(3) 施策の方向性と取り組み

ア 「子ども読書の日」などの意義の周知・普及

① 関連事業の開催

「子ども読書の日（4月23日）」「文字・活字文化の日^{注1}」「子ども読書週間^{注2}」「読書週間^{注3}」「青少年によい本をすすめる県民運動^{注4}」に関連した催しを関係施設などが連携して実施します。

イ 子どもの読書活動の普及・啓発

① 子ども読書に関する情報の発信

子どもの読書の重要性について、多くの人に理解してもらうよう、市の広報紙やホームページ、市図書館が作成する図書館だよりなど、様々な機会をとらえて、子どもの読書活動について情報発信をしていきます。

② 多様な情報発信の手段

子どもの読書活動に関しての情報に接する機会を増やすために、民間施設へもチラシなどを設置するなど、情報発信の手段を検討します。

③ 子ども読書通帳の配布

子どもの読書に対する動機付けを行うとともに、読書意欲を高め、子ども達に読書習慣を身に付けてもらうことを目的に、市内在住または在学・在園の小学生以下の子どもを対象に「ふじかちゃんこども読書通帳」を配布します。また、読破した図書の冊数に応じて、記念品（缶バッジ）を贈呈します。



ふじかちゃんこども読書通帳



記念品（缶バッジ）

注1 文字・活字文化の日とは、文字・活字文化が人類の知識及び知恵の継承や、豊かな人間性の涵養、健全な民主主義の発達に欠くことができないものであり、国民の間に広く文字・活字文化についての関心と理解を深めるようにするため「文字・活字文化振興法」により定められた日、10月27日。

注2 子ども読書週間とは、国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、「子どもの読書活動の推進に関する法律」により定められた日、4月23日から5月12日までの約3週間。

注3 読書週間とは、読書を推進するイベントが多く行われる週間を指し、10月27日から11月9日までの2週間。

注4 青少年によい本をすすめる県民運動とは、愛知県及び愛知県青少年育成県民会議が市町村及び関係機関・団体の協力のもと展開している広域的な運動、10月1日から31日までの1か月間。

基本目標5 子どもの読書活動推進体制の整備

1. 計画の施策とその達成年度

※25ページ及び26ページ参照

2. 「子どもの読書活動推進ネットワーク」の形成

(1) 現状

市図書館や児童館、学校などで読み聞かせが実施されるなど、市内の関係施設で、子どもの読書活動を推進するための様々な取り組みが行われています。

また関係機関による連携会議が定期的開催されるようになり、お互いの情報を共有することができる体制が構築されています。

子ども読書活動推進委員会では、子ども読書活動推進計画の進捗状況を把握しながら、事業の推進に関連した課題などを検討しています。

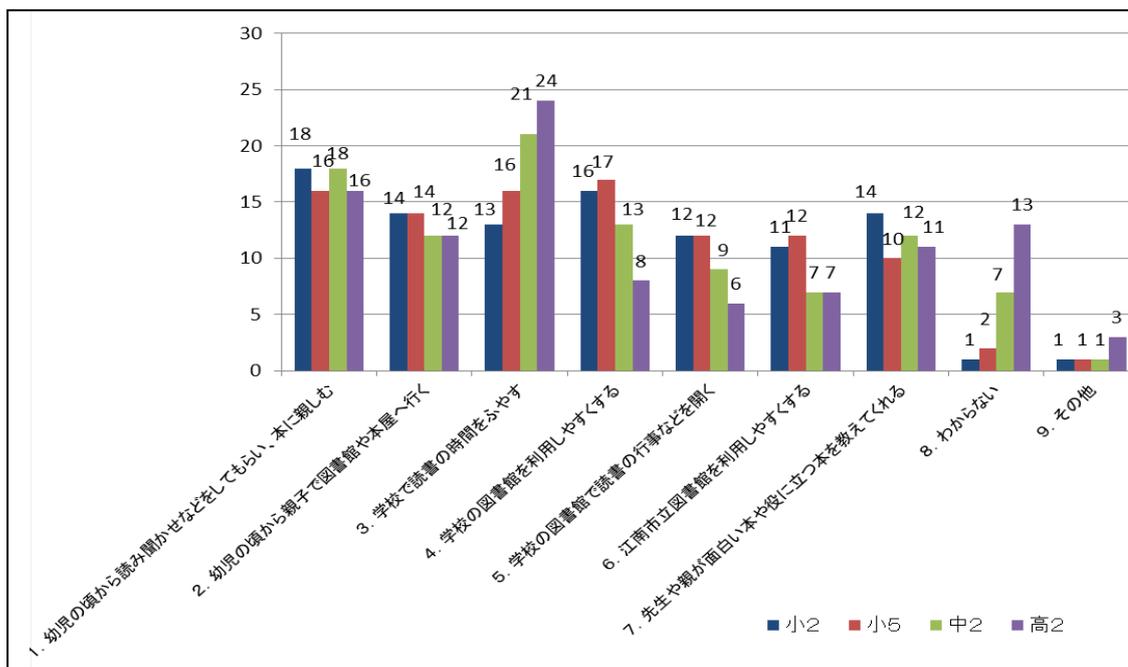
(2) 課題

子どもの読書活動を推進するためには、子どもが生まれてからの各発達段階における、様々な機関による取り組みが必要となります。同時に、その取り組みが系統立ったものであることが大切となります。

また、子どもの読書活動推進を実践していくための大きな力となるボランティア活動を活性化させるための連携・協力体制づくりも、引き続き行っていくことが必要となります。

どうすればみんながもっと本を読むようになると思いますか？

(単位：%)



(3) 施策の方向性と取り組み

ア 推進委員会の設置

① 江南市子ども読書活動推進委員会の開催

本計画を着実に推進していくため、学校をはじめ関係各課が集まり、協議を行う「江南市子ども読書活動推進委員会」を開催します。

イ 関係機関の連携

① 連携した事業の実施

各機関で実施される読書活動事業については、子どもの発達段階ごとに、個別に行われることとなります。関係機関が情報交換・共有しながら事業の実施に努めます。

ウ 人材の育成と連携

① 人材育成への取り組み

子どもの読書活動を支援・推進する人（保育士、幼稚園教諭、教職員、ボランティアなど）を対象とした読み聞かせや子どもの読書に関する講座などを充実し、読書活動推進の担い手の輪を広げます。



計画の施策とその達成目標年度

5つの基本目標		施策の方向性と取り組み		現状	R2	R3	R4	R5	R6	主担当及び関係課(機関)	
1 家庭・地域における子どもの読書活動の推進	1. 家庭における読書活動の推進	ア 親子の読み聞かせの促進	①ブックスタート事業	実施	継続					市図書館 健康づくり課 生涯学習課	
			②発達段階に応じた親子で本に触れ合う機会の創出	実施	拡充					市図書館	
			③公共施設における絵本コーナーの整備	実施	継続					こども政策課	
			④保護者向け講座の開催	実施	継続					市図書館 保育課	
		イ 家庭読書活動の促進	①ブックリストの作成	実施	拡充					市図書館	
			②「家読(うちどく)」の啓発 ③家庭読書活動への支援	実施 実施	継続 継続					生涯学習課	
	2. 地域における読書活動の推進	ア 読書環境の充実	①保育園・児童館、子育て支援センターの絵本や児童書の整備	実施	継続					生涯学習課 こども政策課 保育課	
			②公共施設の利用促進	実施	拡充					生涯学習課 こども政策課	
			③幼児室の読書環境づくり	実施	継続					こども政策課	
		イ 本に親しむ機会の充実	①保育園・児童館、子育て支援センターなどでの読み聞かせ会	実施	継続					市図書館 こども政策課 保育課	
			②ボランティアによる読み聞かせの機会の提供	実施	拡充					市図書館	
			③児童館による事業の開催	実施	継続					こども政策課	
2 学校などにおける子どもの読書活動の推進	1. 保育園・幼稚園などにおける読書活動の推進	ア 読書環境の充実	①保育園・幼稚園などにおける図書の実施	実施	継続					保育課	
			②絵本タイムの確保	実施	継続						
		イ 読み聞かせの推進	①読み聞かせ会の実施	実施	継続						
			ウ 保護者への広報・啓発	①読み聞かせや読書に対する理解と啓発	実施	継続					
		エ 市図書館との連携	①団体貸出の利用促進	実施	継続					市図書館 保育課	
			②情報の共有	実施	継続						
		2. 学校における読書活動の推進	ア 読書指導の充実	①全校一斉読書活動の実施	実施	継続					小中学校
				②啓発行事の充実	実施	継続					
				③推薦図書の紹介とブックトーク	実施	継続					
	イ 学校図書館資料の充実		①学校図書館資料の充実	実施	継続					教育課 小中学校	
			ウ 学校図書館の活用	①学校図書館利用率の向上	実施	継続					小中学校
	②学校図書館の環境整備			実施	継続						
	エ 読書活動推進体制の充実		①経験豊富な学校図書館司書による各校への巡回指導	実施	継続					教育課	
			②学校図書館司書と司書教諭の情報の共有	実施	継続					小中学校 教育課	
			③放課後子ども教室における読書活動	実施	継続					小中学校 こども政策課	
	オ 市図書館との連携	①団体貸出の利用促進	実施	拡充					市図書館 小中学校		
		②連携会議の開催	実施	継続							
		③各小中学校における市図書館の蔵書の貸出と返却	実施	継続							
カ 保護者への広報・啓発	①子どもの読書活動に関する情報の提供と啓発	実施	継続					小中学校			
	②小中学校による「家読(うちどく)」の啓発	実施	継続								

5つの基本目標		施策の方向性と取り組み						現状	R2	R3	R4	R5	R6	主担当及び関係課(機関)		
3 市図書館における子どもの読書活動の推進	1. 市図書館における読書活動の推進	ア 蔵書の充実	①購入図書を選定	実施	継続								市図書館			
		イ 読書支援の充実	①子どもの調べ学習に向けた支援	実施	継続											
			②ブックリストの拡充	実施	拡充											
			③わかりやすい案内表示の作成	実施	継続											
		ウ 行事の充実	①子どもを対象にした事業の開催	実施	継続											
			②スタンプラリーの実施	実施	継続											
		エ 障害者を対象としたサービスの充実	①だれもが利用できる市図書館としてのサービスの充実	実施	継続											
		オ ボランティアの育成と連携	①ボランティア団体との連携	実施	継続											
		カ 保育園・児童館・小中学校などとの連携	①保育園・児童館などとの連携	・絵本の配本事業(保育園、子育て支援センター、わかき園)	実施	継続										市図書館 こども政策課 保育課
				・情報の共有	実施	継続										
	・自主企画事業の情報発信			実施	継続											
	・保育園への出張読み聞かせ			実施	継続											
	②小中学校との連携		・団体貸出の利用促進	実施	継続									市図書館 小中学校		
			・本に関する情報提供の促進	実施	継続											
			・新1年生スタートバックの実施	実施	継続											
			・連携会議の開催	実施	継続											
			・配本サービスの利用促進	実施	拡充											
			・新1年生スタートバックの実施	実施	継続											
	キ 新市立図書館における読書活動の推進	①江南市図書館基本計画に沿った子どもの読書活動の推進														
		・育児サポートによる来館者の支援	未実施	計画									市図書館			
		・子どもが本と触れ合う環境の整備	未実施	計画									生涯学習課			
②各関係機関との連携		未実施	計画									生涯学習課 健康づくり課 こども政策課 市図書館				
	③すべての利用者に寄り添ったサービスの展開	未実施	計画									市図書館				
4 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及	1. 子どもの読書活動の意義や大切さの普及・啓発	ア 「子ども読書の日」などの意義の周知・普及	①関連事業の開催	実施	継続								市図書館 小中学校 生涯学習課			
		イ 子どもの読書活動の普及・啓発	①子ども読書に関する情報の発信	実施	継続								生涯学習課			
			②多様な情報発信の手段	実施	継続											
	③子ども読書通帳の配布	実施	継続													
5 子どもの読書活動推進体制の整備	2. 「子どもの読書活動推進ネットワーク」の形成	ア 推進委員会の設置	①江南市子ども読書活動推進委員会の開催	実施	継続											
		イ 関係機関の連携	①連携した事業の実施	実施	継続								市図書館			
		ウ 人材の育成と連携	①人材育成への取り組み	実施	継続								生涯学習課			

(参考資料)

江南市子どもの読書に関するアンケート調査

1 調査目的

本調査は、子どもの読書活動の現状を把握するとともに、子どもの読書活動に影響を与える要因を明らかにすることにより、本市の第3次子ども読書活動推進計画の策定に資することを目的として実施した。

2 調査対象者

- ・ 市内全保育園 年長児保護者 409名
- ・ 市内全小学校 小学2年生 291名
- ・ " 小学5年生 346名
- ・ 市内全中学校 中学2年生 347名
- ・ 市内高校 2年生 319名

3 調査方法

市内全保育園の年長児保護者と小学校2・5年生（各校1クラス）、中学校2年生（各校1～3クラス）の児童・生徒及び市内高校2年生を対象に調査を行った。

1,712人に用紙を配布し、1,544人の回答を得た。

アンケート内容は、読書に対する意識、読書の実態（冊数など）、図書館等の利用状況、読み聞かせについてなどである。

4 調査実施期間

- ①令和元年8月 6日から令和元年8月28日まで(保育園)
- ②令和元年7月11日から令和元年7月31日まで(小中学校)
- ③令和元年9月10日から令和元年9月30日まで(高校)

5 調査結果

【江南市子どもの読書に関するアンケート調査実施数】

対 象 者	対象者数 (人)	回答数 (人)	回答者別 構成比 (%)	回収率 (%)
保育園年長児保護者	409	308	20.0	75.31
小学校2年生の児童	291	290	18.8	99.66
小学校5年生の児童	346	342	22.2	98.84
中学校2年生の生徒	347	335	21.7	96.54
高校2年生の生徒	319	269	17.4	84.33
計	1,712	1,544	100.0	90.19

読書アンケート調査集計結果 (年長児保護者)

Q1 お子さんに本を読んであげたり、一緒に本を読んだりしていますか？
また、お子さん自らが、本を読んだり、見たりしていますか。

1. 毎日読んでいる	42人	14%
2. 週に3～4日程度読んでいる	54人	17%
3. 週に1～2日程度読んでいる	91人	30%
4. 時々読んでいる(月に1～2日程度)	108人	35%
5. 読んでいない	13人	4%

Q2 Q1で、「1. 毎日読んでいる」、「2. 週に3～4日程度読んでいる」、「3. 週に1～2日程度読んでいる」、「4. 時々読んでいる」と回答された方にお聞きします。お子さんがいくつくらいの頃から本を読んであげていますか？

1. 生まれた頃から	38人	13%
2. ブックスタート(4か月児健診時)から	119人	41%
3. 1才頃から	57人	19%
4. 2才頃から	17人	6%
5. 3才頃から	26人	9%
6. 4才頃から	5人	2%
7. 今年度に入ってから(4月以降)	2人	1%
8. 覚えていない	28人	9%

Q3 お子さんには誰が本を読んであげていますか？

1. お父さん	164人	25%
2. お母さん	279人	43%
3. おじいちゃん・おばあちゃん	103人	16%
4. お兄ちゃん・お姉ちゃん	77人	12%
5. 読んであげていない	12人	2%
6. その他	11人	2%

Q4 Q3で「5. 読んであげていない」と回答された方にお聞きします。

「5. 読んであげていない」と回答された理由はなんですか？

1. 子どもが本に興味や関心がない	2人	11%
2. 自分(保護者)が本に興味や関心がない	2人	11%
3. 家事が忙しいので時間がない	4人	21%
4. 仕事が忙しいので時間がない	6人	31%
5. 子どもが本に慣れ親しんでいるので、読んであげていない	2人	11%
6. その他	3人	15%

Q5 江南市立図書館や児童館などの読み聞かせやおはなし会に参加されたことがありますか？

1. 参加したことがある	76人	25%
2. 参加したことがない	229人	75%
(1) 開催されていることを知らなかった	48人	22%
(2) 開催されていることは知っていたが参加していない	175人	78%

Q5※ Q5で「2-(2)開催されていることは知っていたが参加していない」と答えた理由

1. 魅力がない	9人	3%
2. 興味がない	14人	6%
3. 家事が忙しいので時間がない	61人	25%
4. 仕事が忙しいので時間がない	106人	43%
5. 参加する必要がない	12人	5%
6. その他	44人	18%

Q6 ブックスタートが読み聞かせを行うきっかけになりましたか？

1. きっかけとなった	86人	29%
2. どちらかといえばきっかけとなった	116人	39%
3. どちらかといえばきっかけにならなかった	17人	5%
4. きっかけにならなかった	22人	7%
5. ブックスタートを覚えていない、わからない	59人	20%

Q7 お子さんの本をどのように手に入れていますか？

1. 本屋で買う（インターネット通販を含む）	240人	28%
2. リサイクルの本屋で買う	60人	7%
3. 図書館で借りる	128人	15%
4. 交通児童遊園・児童館・学習等供用施設で借りる	8人	1%
5. 公民館で借りる	4人	1%
6. 友だちから借りる	2人	1%
7. 幼稚園・保育園から借りる	176人	20%
8. もともと家にあった本を読んでいる	150人	17%
9. 親戚や友人などから譲ってもらう	72人	8%
10. 電子書籍	4人	1%
11. その他	9人	1%

Q7① 「10. 電子書籍」と回答された方にお聞きします。電子書籍を活用しての読み聞かせまたは読書は、紙媒体より効果的だと思いますか？また、電子書籍を活用している理由は何ですか？

1. 効果的だと思う	2人	50%
2. どちらかといえば効果的だと思う	2人	50%
3. 紙媒体と変わらない	0人	0%
4. 紙媒体の方が良いが、仕方なく電子書籍を使っている	0人	0%

Q8 本を読むことは、お子さんの成長に必要なことだと思いますか？

1. 必要である	221人	72%
2. どちらかといえば必要である	83人	27%
3. どちらかといえば必要でない	0人	0%
4. 必要ではない	1人	1%

Q 9 お子さんは本に興味や関心がありますか？

1. 興味や関心がある	177人	58%
2. どちらかといえば興味や関心がある	110人	36%
3. どちらかといえば興味や関心がない	16人	5%
4. 興味や関心がない	2人	1%

Q 10 あなたは本を読むことが好きですか？

1. 好き	86人	28%
2. どちらかといえば好き	108人	36%
3. どちらかといえば好きでない	92人	31%
4. 好きでない	16人	5%

Q 11 あなたはどのくらい本（まんが・雑誌を除く）を読んでいますか？

1. 毎日読んでいる	17人	6%
2. 週に3～4日程度読んでいる	17人	6%
3. 週に1～2日程度読んでいる	21人	7%
4. 時々読んでいる（月に1～2日程度）	122人	40%
5. 読んでいない	124人	41%

Q 12 4月23日は、「子ども読書の日」であることを知っていますか？

1. 知っている	13人	5%
2. 知らない	269人	95%

読書アンケート調査集計結果 (小学校2年生)

Q1 ① どのくらい本を読んでいますか？

1. 毎日読んでいる	123人	42%
2. 2～3日に一度くらい読んでいる	93人	32%
3. 1週間に一度くらい読んでいる	52人	18%
4. ほとんど読まない	22人	8%

② 1週間にどのくらいの時間、本を読みますか？

1. 0時間	5人	2%
2. 30分未満	121人	42%
3. 30分以上1時間未満	99人	34%
4. 1時間以上1時間30分未満	32人	11%
5. 1時間30分以上	32人	11%

③ 1か月にだいたい何冊の本を読みますか？

1. 0冊	4人	1%
2. 1～2冊	43人	15%
3. 3～5冊	65人	22%
4. 6～9冊	46人	16%
5. 10冊以上	132人	46%

Q2 Q1で「4 ほとんど読まない」と答えた人はどうしてですか？

1. テレビやゲームのほうがおもしろいから	12人	33%
2. インターネットやメールのほうがおもしろいから	1人	3%
3. まんがや雑誌のほうがいいから	1人	3%
4. 本を読むのがめんどくさいから	2人	6%
5. 塾や習い事で忙しいから	3人	8%
6. 読みたい本がないから	6人	17%
7. 字を読むのが苦手だし、疲れるから	3人	8%
8. 本を読みたいと思わないから	8人	22%
9. その他	0人	0%

Q3 どんな本が好きですか？

1. 図鑑	122人	12%
2. 歴史・地理	45人	4%
3. 伝記	29人	3%
4. 理科・算数	70人	7%
5. 料理・手芸	74人	7%
6. 図工・音楽	104人	10%
7. スポーツ	100人	10%
8. 童話・物語	157人	16%
9. 絵本	170人	17%
10. 学習まんが	108人	11%
11. その他	35人	3%

Q4 どの本をよく読みますか？

1. 学校の図書館	236人	23%
2. 学級文庫	156人	15%
3. 江南市立図書館	112人	11%
4. その他の公立図書館	53人	5%
5. 公民館	26人	3%
6. 交通児童遊園・児童館・学習等供用施設	84人	8%
7. 自分の家の本	237人	23%
8. 友だちの本	88人	9%
9. その他	32人	3%

Q5 学校の図書館・学級文庫から、1か月にだいたい何冊の本を借りますか？

1. 0冊	12人	4%
2. 1～2冊	68人	24%
3. 3～5冊	81人	28%
4. 6～9冊	38人	13%
5. 10冊以上	88人	31%

Q6 学校の図書館・学級文庫について困ることはありますか？

1. 読みたい本がない	70人	17%
2. 利用できる時間が少ない	45人	11%
3. 使い方や借り方がわからない	0人	0%
4. 学校の図書館が遠い	25人	6%
5. 本のことで相談する人がいない	10人	3%
6. 本を読む場所が少ない	21人	5%
7. うるさい、落ち着いて読めない	93人	23%
8. 困ることはない	143人	35%
9. その他	0人	0%

Q7 学校の読書の時間は、本を読むための良い機会（時間）になっていますか？

1. 良い機会（時間）となっている。	143人	49%
2. どちらかといえば良い機会（時間）となっている。	114人	39%
3. どちらかといえば良い機会（時間）となっていない。	19人	7%
4. 良い機会（時間）となっていない。	13人	5%

Q8 4月23日は、「子ども読書の日」であることを知っていますか？

1. 知っている。	52人	18%
2. 知らない。	238人	82%

Q9 電子書籍を利用していますか？（5年生のみ教えてください）

1. 利用している。	-	-
2. 利用していない。	-	-

Q10 Q9で電子書籍を「1. 利用している」と答えた方のみにお聞きします。
電子書籍は、何を使って利用していますか？（5年生のみ答えてください）

1. 専用の端末	-	-
2. タブレット型の端末	-	-
3. スマートフォン	-	-
4. その他	-	-

Q11 幼稚園や保育園のころ、家の人に絵本などを読んでもらいましたか？

1. 毎日読んでもらった	71人	25%
2. よく読んでもらった	60人	21%
3. ときどき読んでもらった	85人	29%
4. 読んでもらわなかった	47人	16%
5. 覚えていない、わからない	26人	9%

Q12 幼稚園や保育園のころ、好きな絵本はありましたか？

1. あった	212人	73%
2. なかった	40人	14%
3. 覚えていない、わからない	38人	13%

Q13 本を読むことは大切だと思いますか？

1. 大切だと思う	199人	68%
2. どちらかといえば大切だと思う	76人	26%
3. どちらかといえば大切だと思わない	14人	5%
4. 大切だと思わない	1人	1%

Q14 どうすればみんながもっと本を読むようになると思いますか？

1. 小さい頃から本を読んでもらう	195人	18%
2. 小さい頃から図書館や本屋に連れていってもらおう	156人	14%
3. 学校で読書の時間を多くする	141人	13%
4. 学校の図書館を、行きたくなるような図書館にする	172人	16%
5. 学校の図書館で読書の行事などを開く	128人	12%
6. 江南市立図書館を、行きたくなるような図書館にする	125人	11%
7. 先生や親が面白い本や読みたくなる本を教えてくれる	155人	14%
8. わからない	8人	1%
9. その他	4人	1%

Q15 本を読むことが好きですか？

1. 好き	156人	54%
2. どちらかといえば好き	97人	33%
3. どちらかといえば好きでない	22人	8%
4. 好きでない	15人	5%

Q16 Q15で「1.好き」、「2.どちらかといえば好き」と答えた方のみにお聞きします。
本を読むことが好きになったきっかけは何ですか？（5年生のみ答えてください）

1. 幼児の頃、読み聞かせをしてもらったから	-	-
2. 本を読むと面白いから	-	-
3. 本を読むと知識がつくから	-	-
4. 好きな本と出会ったから	-	-
5. 学校の図書館・学級文庫が利用しやすかったから	-	-
6. その他	-	-

読書アンケート調査集計結果 (小学校5年生)

Q1 ① どのくらい本を読んでいますか？

1. 毎日読んでいる	147人	43%
2. 2～3日に一度くらい読んでいる	103人	30%
3. 1週間に一度くらい読んでいる	51人	15%
4. ほとんど読まない	41人	12%

② 1週間にどのくらいの時間、本を読みますか？

1. 0時間	23人	7%
2. 30分未満	91人	27%
3. 30分以上1時間未満	82人	24%
4. 1時間以上1時間30分未満	46人	13%
5. 1時間30分以上	99人	29%

③ 1か月にだいたい何冊の本を読みますか？

1. 0冊	15人	4%
2. 1～2冊	76人	22%
3. 3～5冊	81人	24%
4. 6～9冊	61人	18%
5. 10冊以上	109人	32%

Q2 Q1で「4 ほとんど読まない」と答えた人はどうしてですか？

1. テレビやゲームのほうがおもしろいから	10人	11%
2. インターネットやメールのほうがおもしろいから	3人	3%
3. まんがや雑誌のほうがいいから	11人	12%
4. 本を読むのがめんどくさいから	10人	11%
5. 塾や習い事で忙しいから	12人	14%
6. 読みたい本がないから	14人	16%
7. 字を読むのが苦手だし、疲れるから	10人	11%
8. 本を読みたいと思わないから	17人	19%
9. その他	3人	3%

Q3 どんな本が好きですか？

1. 図鑑	85人	8%
2. 歴史・地理	117人	11%
3. 伝記	91人	9%
4. 理科・算数	67人	6%
5. 料理・手芸	79人	7%
6. 図工・音楽	72人	7%
7. スポーツ	90人	8%
8. 童話・物語	207人	19%
9. 絵本	74人	7%
10. 学習まんが	157人	15%
11. その他	30人	3%

Q4 どこの本をよく読みますか？

1. 学校の図書館	266人	30%
2. 学級文庫	109人	12%
3. 江南市立図書館	116人	13%
4. その他の公立図書館	43人	5%
5. 公民館	6人	1%
6. 交通児童遊園・児童館・学習等供用施設	58人	6%
7. 自分の家の本	236人	26%
8. 友だちの本	47人	5%
9. その他	18人	2%

Q5 学校の図書館・学級文庫から、1か月にだいたい何冊の本を借りますか？

1. 0冊	24人	7%
2. 1～2冊	97人	29%
3. 3～5冊	95人	28%
4. 6～9冊	56人	16%
5. 10冊以上	68人	20%

Q6 学校の図書館・学級文庫について困ることはありますか？

1. 読みたい本がない	115人	26%
2. 利用できる時間が少ない	59人	13%
3. 使い方や借り方がわからない	0人	0%
4. 学校の図書館が遠い	19人	4%
5. 本のことで相談する人がいない	8人	2%
6. 本を読む場所が少ない	9人	2%
7. うるさい、落ち着いて読めない	55人	13%
8. 困ることはない	156人	36%
9. その他	17人	4%

Q7 学校の読書の時間は、本を読むための良い機会（時間）になっていますか？

1. 良い機会（時間）となっている。	173人	51%
2. どちらかといえば良い機会（時間）となっている。	134人	39%
3. どちらかといえば良い機会（時間）となっていない。	19人	5%
4. 良い機会（時間）となっていない。	16人	5%

Q8 4月23日は、「子ども読書の日」であることを知っていますか？

1. 知っている。	62人	18%
2. 知らない。	280人	82%

Q9 電子書籍を利用していますか？（5年生のみ教えてください）

1. 利用している。	84人	25%
2. 利用していない。	258人	75%

Q10 Q9で電子書籍を「1. 利用している」と答えた方のみにお聞きします。
電子書籍は、何を使って利用していますか？（5年生のみ答えてください）

1. 専用の端末	6人	7%
2. タブレット型の端末	54人	63%
3. スマートフォン	23人	27%
4. その他	3人	3%

Q11 幼稚園や保育園のころ、家の人に絵本などを読んでもらいましたか？

1. 毎日読んでもらった	87人	25%
2. よく読んでもらった	98人	29%
3. ときどき読んでもらった	77人	23%
4. 読んでもらわなかった	21人	6%
5. 覚えていない、わからない	58人	17%

Q12 幼稚園や保育園のころ、好きな絵本はありましたか？

1. あった	228人	67%
2. なかった	45人	13%
3. 覚えていない、わからない	69人	20%

Q13 本を読むことは大切だと思いますか？

1. 大切だと思う	230人	67%
2. どちらかといえば大切だと思う	96人	28%
3. どちらかといえば大切だと思わない	12人	4%
4. 大切だと思わない	4人	1%

Q14 どうすればみんながもっと本を読むようになると思いますか？

1. 小さい頃から本を読んでもらう	173人	16%
2. 小さい頃から図書館や本屋に連れていってもらおう	148人	14%
3. 学校で読書の時間を多くする	178人	16%
4. 学校の図書館を、行きたくくなるような図書館にする	188人	17%
5. 学校の図書館で読書の行事などを開く	137人	12%
6. 江南市立図書館を、行きたくくなるような図書館にする	134人	12%
7. 先生や親が面白い本や読みたくなる本を教えてくれる	115人	10%
8. わからない	20人	2%
9. その他	13人	1%

Q15 本を読むことが好きですか？

1. 好き	184人	54%
2. どちらかといえば好き	112人	33%
3. どちらかといえば好きでない	29人	9%
4. 好きでない	15人	4%

Q16 Q15で「1.好き」、「2.どちらかといえば好き」と答えた方のみにお聞きします。
本を読むことが好きになったきっかけは何ですか？（5年生のみ答えてください）

1. 幼児の頃、読み聞かせをしてもらったから	91人	14%
2. 本を読むと面白いから	187人	30%
3. 本を読むと知識がつくから	134人	21%
4. 好きな本と出会ったから	147人	23%
5. 学校の図書館・学級文庫が利用しやすかったから	57人	9%
6. その他	19人	3%

読書アンケート調査集計結果 (中学校2年生)

Q1 ① どのくらい本を読んでいますか？

1. 毎日読んでいる	47人	14%
2. 2～3日に一度くらい読んでいる	61人	18%
3. 1週間に一度くらい読んでいる	59人	18%
4. ほとんど読まない	165人	50%

② 1週間にどのくらいの時間、本を読みますか？

1. 0時間	123人	37%
2. 30分未満	72人	21%
3. 30分以上1時間未満	66人	20%
4. 1時間以上1時間30分未満	37人	11%
5. 1時間30分以上	36人	11%

③ 1か月にだいたい何冊の本を読みますか？

1. 0冊	98人	31%
2. 1～2冊	129人	41%
3. 3～5冊	47人	15%
4. 6～9冊	17人	5%
5. 10冊以上	24人	8%

Q2 Q1で「4 ほとんど読まない」と答えた人はどうしてですか？

1. テレビやゲームのほうがおもしろいから	112人	15%
2. インターネットやメールのほうがおもしろいから	90人	12%
3. まんがや雑誌のほうがいいから	79人	11%
4. 本を読むのがめんどくさいから	69人	10%
5. 部活などで忙しいから	84人	12%
6. 塾や習い事で忙しいから	59人	8%
7. 読みたい本がないから	76人	10%
8. 字を読むのが苦手だし、疲れるから	59人	8%
9. 本を読みたいと思わないから	96人	13%
10. その他	8人	1%

Q3 どんな本が好きですか？

1. 図鑑	26人	4%
2. 歴史・地理	68人	10%
3. 伝記	43人	6%
4. 理科・数学	23人	3%
5. 料理・手芸	31人	5%
6. 美術・音楽	19人	3%
7. スポーツ	97人	15%
8. 物語・小説	221人	33%
9. 絵本	44人	7%
10. 学習まんが	75人	11%
11. その他	21人	3%

Q 4 どこの本をよく読みますか？

1. 学校の図書館	103人	20%
2. 学級文庫	33人	6%
3. 江南市立図書館	40人	7%
4. その他の公立図書館	17人	3%
5. 公民館	1人	1%
6. 交通児童遊園・児童館・学習等供用施設	1人	1%
7. 自分の家の本	253人	49%
8. 友だちの本	35人	7%
9. その他	30人	6%

Q 5 学校の図書館・学級文庫から、1か月にだいたい何冊の本を借りますか？

1. 0冊	229人	71%
2. 1～2冊	70人	22%
3. 3～5冊	16人	5%
4. 6～9冊	5人	1%
5. 10冊以上	4人	1%

Q 6 学校の図書館・学級文庫について困ることはありますか？

1. 読みたい本がない	174人	42%
2. 利用できる時間が少ない	65人	16%
3. 使い方や借り方がわからない	3人	1%
4. 学校の図書館が遠い	26人	6%
5. 本のことで相談する人がいない	5人	1%
6. 本を読む場所が少ない	9人	2%
7. うるさい、落ち着いて読めない	18人	5%
8. 困ることはない	99人	24%
9. その他	13人	3%

Q 7 学校の読書の時間は、本を読むための良い機会（時間）になっていますか？

1. 良い機会（時間）となっている。	173人	53%
2. どちらかといえば良い機会（時間）となっている。	105人	32%
3. どちらかといえば良い機会（時間）となっていない。	20人	6%
4. 良い機会（時間）となっていない。	28人	9%

Q 8 4月23日は、「子ども読書の日」であることを知っていますか？

1. 知っている。	18人	5%
2. 知らない。	313人	95%

Q 9 電子書籍を利用していますか？

1. 利用している。	112人	34%
2. 利用していない。	218人	66%

Q10 Q9で電子書籍を「1. 利用している」と答えた方のみにお聞きします。
電子書籍は、何を使って利用していますか？

1. 専用の端末	5人	4%
2. タブレット型の端末	22人	20%
3. スマートフォン	84人	75%
4. その他	1人	1%

Q11 幼稚園や保育園のころ、家の人に絵本などを読んでもらいましたか？

1. 毎日読んでもらった	43人	13%
2. よく読んでもらった	114人	35%
3. ときどき読んでもらった	77人	23%
4. 読んでもらわなかった	12人	4%
5. 覚えていない、わからない	82人	25%

Q12 幼稚園や保育園のころ、好きな絵本はありましたか？

1. あった	176人	53%
2. なかった	31人	9%
3. 覚えていない、わからない	124人	38%

Q13 本を読むことは大切だと思いますか？

1. 大切だと思う	150人	46%
2. どちらかといえば大切だと思う	148人	45%
3. どちらかといえば大切だと思わない	11人	3%
4. 大切だと思わない	20人	6%

Q14 どうすればみんながもっと本を読むようになると思いますか？

1. 幼児の頃から読み聞かせなどをしてもらい、本に親しむ	137人	18%
2. 幼児の頃から親子で図書館や本屋へ行く	88人	12%
3. 学校で読書の時間をふやす	153人	21%
4. 学校の図書館を利用しやすくする	98人	13%
5. 学校の図書館で読書の行事などを開く	68人	9%
6. 江南市立図書館を利用しやすくする	53人	7%
7. 先生や親が面白い本や役に立つ本を教えてくれる	90人	12%
8. わからない	54人	7%
9. その他	10人	1%

Q15 本を読むことが好きですか？

1. 好き	102人	31%
2. どちらかといえば好き	99人	31%
3. どちらかといえば好きでない	63人	19%
4. 好きでない	63人	19%

Q16 Q15で「1.好き」、「2.どちらかといえば好き」と答えた方のみにお聞きします。
本を読むことが好きになったきっかけは何ですか？（5年生のみ答えてください）

1. 幼児の頃、読み聞かせをしてもらったから	42人	11%
2. 本を読むと面白いから	125人	34%
3. 本を読むと知識がつくから	70人	19%
4. 好きな本と出会ったから	112人	30%
5. 学校の図書館・学級文庫が利用しやすかったから	9人	2%
6. その他	14人	4%

読書アンケート調査集計結果 (高校2年生)

Q1 ① どのくらい本を読んでいますか？

1. 毎日読んでいる	27人	10%
2. 2～3日に一度くらい読んでいる	18人	7%
3. 1週間に一度くらい読んでいる	30人	11%
4. ほとんど読まない	194人	72%

② 1週間にどのくらいの時間、本を読みますか？

1. 0時間	165人	62%
2. 30分未満	37人	14%
3. 30分以上1時間未満	23人	9%
4. 1時間以上1時間30分未満	14人	5%
5. 1時間30分以上	28人	10%

③ 1か月にだいたい何冊の本を読みますか？

1. 0冊	158人	59%
2. 1～2冊	74人	27%
3. 3～5冊	22人	8%
4. 6～9冊	7人	3%
5. 10冊以上	7人	3%

Q2 Q1で「4 ほとんど読まない」と答えた人はどうしてですか？

1. テレビやゲームのほうがおもしろいから	62人	12%
2. インターネットやメールのほうがおもしろいから	51人	10%
3. まんがや雑誌のほうがいいから	70人	14%
4. 本を読むのがめんどくさいから	42人	8%
5. 部活などで忙しいから	113人	22%
6. 塾や習い事で忙しいから	29人	6%
7. 読みたい本がないから	49人	10%
8. 字を読むのが苦手だし、疲れるから	30人	6%
9. 本を読みたいと思わないから	54人	11%
10. その他	7人	1%

Q3 どんな本が好きですか？

1. 図鑑	19人	4%
2. 歴史・地理	33人	7%
3. 伝記	26人	6%
4. 理科・数学	24人	5%
5. 料理・手芸	21人	5%
6. 美術・音楽	27人	6%
7. スポーツ	41人	9%
8. 物語・小説	209人	47%
9. 絵本	12人	3%
10. 学習まんが	24人	5%
11. その他	12人	3%

Q 4 どこの本をよく読みますか？

1. 学校の図書館	17人	5%
2. 江南市立図書館	11人	3%
3. その他の公立図書館	61人	19%
4. 公民館	0人	0%
5. 交通児童遊園・児童館・学習等供用施設	0人	0%
6. 自分の家の本	191人	59%
7. 友だちの本	20人	6%
8. その他	24人	8%

Q 5 学校の図書館から、1か月にだいたい何冊の本を借りますか？

1. 0冊	249人	94%
2. 1～2冊	9人	3%
3. 3～5冊	8人	3%
4. 6～9冊	0人	0%
5. 10冊以上	0人	0%

Q 6 学校の図書館について困ることはありますか？

1. 読みたい本がない	68人	22%
2. 利用できる時間が少ない	48人	15%
3. 使い方や借り方がわからない	19人	6%
4. 学校の図書館が遠い	13人	4%
5. 本のことで相談する人がいない	2人	1%
6. 本を読む場所が少ない	1人	1%
7. うるさい、落ち着いて読めない	2人	1%
8. 困ることはない	143人	47%
9. その他	10人	3%

Q 7 4月23日は、「子ども読書の日」であることを知っていますか？

1. 知っている。	8人	3%
2. 知らない。	257人	97%

Q 8 電子書籍を利用していますか？

1. 利用している。	94人	36%
2. 利用していない。	170人	64%

Q 9 Q 8で電子書籍を「1. 利用している」と答えた方のみにお聞きします。

電子書籍は、何を使って利用していますか？

1. 専用の端末	6人	6%
2. タブレット型の端末	17人	18%
3. スマートフォン	69人	74%
4. その他	2人	2%

Q10 幼稚園や保育園のころ、家の人に絵本などを読んでもらいましたか？

1. 毎日読んでもらった	55人	21%
2. よく読んでもらった	126人	47%
3. ときどき読んでもらった	49人	18%
4. 読んでもらわなかった	7人	3%
5. 覚えていない、わからない	28人	11%

Q11 幼稚園や保育園のころ、好きな絵本はありましたか？

1. あった	209人	79%
2. なかった	7人	3%
3. 覚えていない、わからない	49人	18%

Q12 本を読むことは大切だと思いますか？

1. 大切だと思う	166人	62%
2. どちらかといえば大切だと思う	93人	35%
3. どちらかといえば大切だと思わない	3人	1%
4. 大切だと思わない	6人	2%

Q13 どうすればみんながもっと本を読むようになると思いますか？

1. 幼児の頃から読み聞かせなどをしてもらい、本に親しむ	75人	16%
2. 幼児の頃から親子で図書館や本屋へ行く	54人	12%
3. 学校で読書の時間をふやす	108人	24%
4. 学校の図書館を利用しやすくする	38人	8%
5. 学校の図書館で読書の行事などを開く	27人	6%
6. 江南市立図書館を利用しやすくする	33人	7%
7. 先生や親が面白い本や役に立つ本を教えてくれる	50人	11%
8. わからない	57人	13%
9. その他	16人	3%

Q14 本を読むことが好きですか？

1. 好き	104人	39%
2. どちらかといえば好き	82人	31%
3. どちらかといえば好きでない	55人	20%
4. 好きでない	28人	10%

Q15 Q14で「1. 好き」、「2. どちらかといえば好き」と答えた方のみにします。本を読むことが好きになったきっかけは何ですか？

1. 幼児の頃、読み聞かせをもらったから	38人	13%
2. 本を読むと面白いから	137人	46%
3. 本を読むと知識がつくから	51人	17%
4. 好きな本と出会ったから	61人	20%
5. 学校の図書館・学級文庫が利用しやすかったから	8人	3%
6. その他	4人	1%

子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成十三年十二月十二日法律第百五十四号)

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

- 2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。
- 3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

- 2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。
- 3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。
- 4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため子ども読書の日を設ける。

- 2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。
- 3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

衆議院文部科学委員会における附帯決議

政府は、本法施行に当たり、次の事項について配慮すべきである。

- 一 本法は子どもの自主的な読書活動が推進されるよう必要な施策を講じて環境を整備していくものであり行政が不当に干渉することのないようにすること。
- 二 民意を反映し、子ども読書活動推進基本計画を速やかに策定し、子どもの読書活動の推進に関する施策の確立とその具体化に努めること。
- 三 子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、本と親しみ、本を楽しむことができる環境づくりのため、学校図書館、公共図書館等の整備充実に努めること。
- 四 学校図書館、公共図書館等が図書を購入するに当たっては、その自主性を尊重すること。
- 五 子どもの健やかな成長に資する書籍等については、事業者がそれぞれの自主的判断に基づき提供に努めるようにすること。
- 六 国及び地方公共団体が実施する子ども読書の日の趣旨にふさわしい事業への子どもの参加については、その自主性を尊重すること。

江南市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、江南市子ども読書活動推進計画策定委員会の設置について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 江南市子ども読書活動推進計画（以下「推進計画」という。）を策定するため、江南市子ども読書活動推進計画策定委員会（以下「策定委員会」という。）を置く。

(所掌事務)

第3条 策定委員会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 推進計画の策定に関すること。
- (2) その他策定委員会の運営に関すること。

(組織)

第4条 策定委員会は、子どもの読書活動の推進に係る部課、機関及び市民から公募した委員をもって組織する。

- 2 委員の任期は、推進計画が策定されるまでとする。
- 3 策定委員会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員長は教育部長を、副委員長は生涯学習課長をあてる。
- 4 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故のあるとき、または委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(策定委員会の招集)

第5条 策定委員会は、委員長が招集する。

- 2 委員長は、特に必要があると認めるときは、委員以外の者を策定委員会の会議に出席させることができる。

(江南市子ども読書活動推進計画策定ワーキンググループ)

第6条 策定委員会に、推進計画の策定に係る実務を担当する江南市子ども読書活動推進計画策定ワーキンググループを置く。

2 江南市子ども読書活動推進計画策定ワーキンググループの運営に関し必要な事項は、別に定める。

(事務局)

第7条 策定委員会の事務を処理するために、事務局を教育部生涯学習課に置く。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、策定委員会に関する必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この要綱は、平成20年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

江南市子ども読書活動推進計画策定ワーキンググループ設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、江南市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱第6条第1項の規定に基づき、江南市子ども読書活動推進計画策定ワーキンググループ（以下「ワーキンググループ」という。）を設置するにあたり必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 ワーキンググループの所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 江南市子ども読書活動推進計画（以下「推進計画」という。）の策定に係る実務に関すること。
- (2) その他ワーキンググループの運営に関すること。

(組織)

第3条 ワーキンググループは、子どもの読書活動の推進に係る部課及び関係機関の委員をもって組織する。

- 2 委員の任期は、推進計画が策定されるまでとする。
- 3 ワーキンググループにリーダー及びサブリーダー各1人を置く。
- 4 リーダーは、会務を総理し、会議の議長となる。
- 5 サブリーダーは、リーダーを補佐し、リーダーに事故のあるとき、またはリーダーが欠けたときは、その職務を代理する。

(ワーキンググループの招集)

第4条 ワーキンググループは、リーダーが招集する。

- 2 リーダーは、必要に応じ会議事項等を策定委員会へ報告する。

(事務局)

第5条 ワーキンググループの事務を処理するために、事務局を教育部生涯学習課に置く。

(委任)

第6条 この要綱に定めるもののほか、ワーキンググループに関する必要な事項は、リーダーが定める。

附 則

この要綱は、平成20年10月1日から施行する。

第3次江南市子ども読書活動推進計画

◆こうなん“わくわく”読書プラン◆

発行 令和2年 月

江南市教育委員会

〒483-8701

愛知県江南市赤童子町大堀90番地

電話 0587-54-1111 (代)

<http://www.city.konan.lg.jp/>

江南市子ども読書活動推進計画策定委員会（事務局：教育部生涯学習課）